

一人は万人のために
万人は一人のために

こ～ぷうえ～ぶ

発行
岩手県学校生活協同組合
岩手郡滝沢村滝沢字士沢220-5
☎019(687)2246
http://www.igcoop.or.jp/
発行責任者 八重樫 東伍
編集 企画部総務課

第58期通常総代会公示

日時 2006年5月31日(水) 10時30分～15時
会場 サンセール盛岡(盛岡市志家町1-10)

付議案件

- 第1号議案 2005年度活動報告、事業報告、決算報告および剰余金処分案承認の件ならびに監査報告
- 第2号議案 2006年度活動方針・事業計画および損益計画ならびに役員報酬決定の件
- 第3号議案 2006年度借入金最高限度額決定の件
- 第4号議案 総代選挙規約ならびに役員選挙規約の一部改定に関する件
- 第5号議案 役員選挙に関する件

総代会ってなあに?

総代会は生協の最高決定機関で、生協法で1年に1回開催することが決められています。
みんなの声をよせあって、昨年みんなできてきたことを確かめ合い、今年はどんなことをすすめていくのかを決める場です。
「総代」は組合員の代表で、各支所から選出します。

2005年度のまとめ

組合員拡大と民主的な運営について

- 組織の拡大は内部体制の強化と、支所や学校職場の協力もあり順調に進み、新採用教職員の加入率は96.6%でした。
- 支所運営委員会は確実な開催が進むと同時に、メンタルヘルスや年金、消費者問題などの学習会が活発に取り組みされました。
- 地区総代会は、出席率が82.4%まで向上し、事業や運営、学習などにたくさんの意見、要望が出されました。

くらしに役立つ供給事業について

- ガソリンや灯油などのサービス事業の利用が伸びたものの、供給高は計画を達成できませんでした。前年(102%)を上回ることができました。
- 共同購入は、個配が全体の30%を構成するまで拡大しましたが、事業全体としては現状維持にとどまっています。
- 共済事業は、団体生命共済が26年連続加入率90%以上を達成するとともに、組合員拡大が前年133%と大幅に増やすことができました。

くらしと平和を守る運動について

- 「戦争と原爆展」や学習会等に取り組み、改めて平和の大切さを学びました。また、「平和憲法9条を守る署名」の取り組みは1万筆の目標を達成しました。

損益状況について

- サービス事業の他、共済など利用事業収入の増加や物件費の削減がすすみ、334万円の経常剰余となりましたが、法人税等の支払いにより当期剰余金は174万円の欠損となりました。

県学校生活協同組合 第57期通常総代会



05年度は終戦60年という節目の年でもあることから、平和の取り組みとして憲法九条を守る署名を呼びかけ一万十二筆を集約するなど大きな広がりを見せました。



3月22日に西盤井教育会館で開催されたメンタルヘルス学習会の様子。58名が参加し多くの人が聞いて欲しいと好評でした。



退職した組合員を対象とした継続組合員のつどいも開催され、年金担保融資や成年後見制度の学習、共同購入商品の試食や個配の提案などを行いました。

共同購入委員会を中心に産地見学会や、ぶどう収穫&ワインづくり体験に取り組みました。ワインづくり体験ではファミリー

また、支所運営委員会はすべての支所で開催され、支所内の運営参加を高める取り組みと同時に、メンタルヘルス学習会等独自活動が積極的に行われました。

地区総代会は累計で出席率が82%に達し「平和の問題や灯油情勢を知ることができ参加してよかった」というご意見や、運営に関する要望などがたくさん寄せられました。

2005年度

「みんなの生協からわたしの生協へ」の取り組み
学校や職場の「ユニティづくり」に努めました
06年度も組合員の運営・参加ができる運動をすすめます!

役員が工夫して組合員に情報提供をし、職場の「ユニティ」を作りに出していること、「みんなの生協からわたしの生協へ」の合い言葉を第57期通常総代会で確認し、取り組んできました。

毎月9日を「九条の日」とし街頭などで署名の協力を呼びかけました。

地区総代会は累計で出席率が82%に達し「平和の問題や灯油情勢を知ることができ参加してよかった」というご意見や、運営に関する要望などがたくさん寄せられました。

月間でオリジナルワインを供給することができました。



10月16日に行われた「ぶどう収穫体験」では共同購入委員とご家族の方々15名が参加しました。

ユニセフ一般募金は、平和運動とあわせて取り組んだこともあり、参加学校・児童会生徒会・参加人数いずれも過去最高となりました。またファミリー月間等で「ユニセフギフト」の取り組みも行い、さらに利用が広がりました。

パキスタン地震緊急募金では一般募金から十万円を提出しました。



06年度は「食」の安全・環境問題・消費者問題などの学習を行うと同時に、その時々役立つ内容も取り入れた情報提供・問題提起を機関会議で提案していきます。

厳しい状況下でも「みんなの生協からわたしの生協へ」を胸に、生協運動を職場へ実現するため、組合員が運営参加できる運動をすすめていきます。



2月24日和賀教育会館で消費者問題学習会を行いました。最近の特徴として子どもが巻き込まれる消費者問題が急増していることや、リフォーム詐欺を題材にしたビデオ学習、インターネットや携帯電話を使った複雑巧妙化した消費者問題の実態と今後の課題を学習して交流しました。

消費者問題、今、そしてこれから 和賀支所で消費者被害と課題の学習会



2月27日稗貫教育会館で行われ、小中高から合計29名の参加がありました。当日は教職員共済本部から講師を招き厚生年金と共済年金の一元化や、寒冷地手当減・公的年金の保険料率アップ等、教職員を取り巻く経済状況の厳しさから「保障の見直し」の必要性についてお話いただきました。

わたしたちの年金はどうなるの? 稗貫支所で年金・共済制度学習会を開催しました



3月7日遠野教育会館で継続組合員のつどいが行われ、参加者は18名でした。遠野支所では昨年度に引き続き2回目の開催です。当日はミニ学習会のビデオ鑑賞、成年後見制度の紹介、共同購入おすすり商品の試食等が行われ、参加者からも事業についてご意見やご質問をいただくなど、活発な「つどい」でした。

退職後も「わたしの生協」 遠野支所で開催しました



3月18日岩手教育会館で開催され、「私の人生を変えたイラク戦争」と題し、元駐レバノン特命全権大使の天木尚人さんの講演が行われ「武力を持たないことを宣言・実行し世界に対し脅威を与えない国になろう」と話されました。講演後、「憲法9条を守ろう!」と参加者全員で盛岡市内を行進しました。

平和を願う市民のつどい イラク戦争3周年、約600名が参加しました



News 2006